

# AJA KONA、Io および T-TAP™ ソフトウェアインストーラー

## リリースノート- Windows v15.0

### 重要な記載事項 - 必ずお読みください

---

#### 対応 OS

- ・このドライババージョンは、64 ビットモデルの Windows 10、Windows 8.1 および Windows 7 と互換性があります。ただし、4K/UltraHD や 60p などのハイフレームレートを使用する場合は、Windows 10 を推奨します。
- ・このインストーラーを実行する前に、AJA XENA、AJA KONA または AJA Windows など以前のソフトウェアバージョンをすべてアンインストールしてください。
- ・インストールを行う場合は管理者権限でインストーラーを実行することを推奨します。これを行うには、インストーラーを右クリックして「管理者として実行」を選択します。Windows ユーザーアカウント制御 (UAC) がオフになっている場合「管理者として実行」オプションが存在しない場合があります。
- ・その他のハードウェアに関する推奨事項および要求事項 \* については、以下のリンクを参照ください。<https://www.aja.com/support/kona-pc-system-configuration>

\*注：本リリースノート末尾の“既知の問題と制限事項”の項目をご確認ください。“Windows のスリープ/ハイバネーション（休止状態） / ファストブート”前後の推奨事項をご参照ください。

#### ソフトウェア

以下の AJA ソフトウェアバージョンは、本インストーラーと合わせてご使用ください：

AJA Control Room v15.0、Control Panel v15.0、System Test v15.0

このインストーラーは、下記のサードパーティー製ソフトウェアバージョンと互換性があります。最適なパフォーマンスを求める場合には、最新版のご使用を勧めます。

\*なお、いくつかのソフトウェア開発元では Windows 7、または Windows 8、または Windows 10 の初期バージョンには対応しない場合があります。そのため、AJA インストーラーパッケージではその OS バージョンに対応しているもののソフトウェア開発元ではその OS への対応が終了している場合には、AJA 側ではサポートやトラブルシューティングを行うことはできません。

## Adobe

- ・ Premiere Pro CC 2019\*、2018、2017
- ・ After Effects CC 2019\*、2018、2017
- ・ Photoshop CC 2019\*、2018、2017
- ・ Prelude CC 2019\*、2018、2017
- ・ Audition CC 2019\*、2018、2017

## Avid

- ・ Media Composer - 2018.x\*、8.10、8.9、8.8、8.7、8.6、8.5、8.4

## Telestream

- ・ Wirecast - 11.x、10.x、9.x、8.x、7.x、6.x

## その他の互換アプリケーション \*\*

- ・ <http://www.aja-jp.com/products/kona#ソフトウェア対応表>
- ・ <http://www.aja-jp.com/products/io#ソフトウェア対応表>

\*\* その他のアプリケーションで使用するために必要な AJA ドライババージョンの詳細については、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

## v15.0 での新機能

---

- ・ AJA KONA 5 への対応（12G-SDI 入出力および HDMI 2.0 でのモニタリング/出力に対応した 8 レーン PCIe 3.0 ビデオ/オーディオ I/O カード）
  - ・ Note that AJA KONA 5 requires ATX power from the motherboard. Unlike other KONA cards, AJA KONA 5 does NOT use PCIe bus power.
  - ・ 注記：AJA KONA 5 では PC のマザーボードからの ATX 電源が必要となります。他の KONA カード製品とは異なり、AJA KONA 5 では PCIe バスパワーを使用しません。
- ・ AJA KONA HDMI において、本リリースから 2 系統の 4K 60p ストリームを同時にインジェストが可能（以前のリリースでは、片方は 4K 60p、もう一方は 4K 30p まで）
- ・ プレイバックに関して、AJA Control Room は今回から完全に独立したメディアプレイヤーとなりました。そのため、AJA ハードウェアを接続していない場合でもビデオとオーディオを再生できるようになりました。
  - ・ ビデオは AJA Control Room 内のホストモニターで再生され、オーディオはホストシステムオーディオを用いてモニタリングが可能です。
    - ・ 注記：ただし、ホストシステムでのオーディオモニタリングを行う際は、映像と音声の同期は必ずしも保証できません。ホストシステムでのオーディオ設定は以下の通りです：

- ・ AJA Control Room: Preferences > General > Host Audio monitor > “Built-in Output”.
  - ・ 注記：また、お使いの OS 設定において、AJA 製品よりもシステムオーディオ（スピーカー/ヘッドフォン）を使用するよう設定を変更する必要があります。
- ・ キャプチャーに関して、AJA Control Room はホストシステムオーディオ経由でのオーディオモニタリングが可能になりました。この機能は特に KONA HDMI のようなキャプチャー専用製品を用いて素材を取り込みする際に有用です。
- ・ 注記：ただし、ホストシステムでのオーディオモニタリングを行う際は、映像と音声の同期は必ずしも保証できません。ホストシステムでのオーディオ設定は以下の通りです：
    - ・ AJA Control Room: Preferences > General > Host Audio monitor > “Built-in Output”.
    - ・ 注記：また、お使いの OS 設定において、AJA 製品よりもシステムオーディオ（スピーカー/ヘッドフォン）を使用するよう設定を変更する必要があります。

## v15.0 での推奨事項

---

- ・ Avid Media Composer または **AJA Control Room** でのキャプチャー時には、最適な結果が得られるように “Ref In” を “Video In” に設定することをお勧めします (**AJA KONA**、**AJA Io** 製品および **Avid DNxIV**、**DNxIP**)。この推奨事項は v14.3 で追加されましたが、リマインダーとして記載されています。

## v15.0 での修正点、変更点および改善点

---

注記:

下記の事項は、主に影響のある AJA 製品がまとめて記載されています。特別に記載のない他の AJA 製品であっても同じ症状が影響していた場合もありますので、もし特定の修正内容を探している場合は、全ての記載を確認頂くことをお勧めします。

- ・ **AJA Io 4K Plus** において、再生時にオーディオチャンネルが他のオーディオチャンネル内にミックスされる問題を修正
- ・ **AJA Io 4K Plus** において、SDI パススルー出力時にインターレース HDMI 入力イメージの一番上のラインをクロップする不具合を修正
- ・ **AJA Io 4K Plus** および **AJA KONA 4** において、HDMI 出力が 4444 ビデオ (UHD 30p 4444) の場合にまだらに表示される部分がある問題を修正
- ・ **AJA KONA 4** で **AJA Control Panel** 使用時に、2K HFR (ハイフレームレート) フォーマットオプションが正しく読み込まれない不具合を修正
- ・ **AJA KONA 4** で **AJA Control Panel** 使用時に、HDMI 出力選択項目・4K Quater が動作しない不具合を修正

- ・ **AJA KONA IP** において ST 2022 ファームウェア使用時に、断続的に IP アドレスが更新されず、新しい IP アドレスに変更するまで動作が止まる不具合を修正
- ・ AJA 製品を Adobe Premiere Pro CC と使用する際、いくつかの VTR 機器でのテープへのインサートおよびアセンブル編集の正確性を向上
- ・ AJA 製品を Avid Media Composer と使用する際、プレイバック中にモニタリングのオーディオが途切れる問題を修正
- ・ AJA 製品を Avid Media Composer と使用する際、オーディオパンチイン中にタイムラインのオーディオモニタリングが途切れる問題を修正
- ・ **AJA MultiChannel Config** において、Telestream Wirecast 設定時に 4K 入力に設定すると AJA 製品が “OEM tasks” に取り込まれ Wirecast が終了してしまう不具合を修正
- ・ AJA 製品では、Telestream Wirecast においてプログレッシブおよびインターレースの信号を同時には使用できない不具合を修正

## 以前のリリースでの修正点および改善点

---

### v14.3

- ・ **AJA KONA IP** (受信および送信) SMPTE ST 2110 対応 (最大 2K/HD 60p まで)
- ・ **AJA Io 4K Plus** において、Telestream Wirecast\* 使用時に 6G-SDI を有効な インพุット/アウトプットとして追加 (AJA MultiChannel Config 4K 設定)  
注記：Wirecast の設定は、AJA Multi-channel Config 経由で行います (AJA Control Panel ではありません)
- ・ **AJA KONA HDMI** 使用時に **AJA Control Panel** において、多くの Canon 製カメラからの入力ソースが誤って YUV 4:4:4 と認識されてしまう不具合を修正
- ・ **AJA KONA HDMI** 使用時に **AJA Control Panel** において、いくつかの Panasonic 製カメラからのソースを違うインพุットに入れ替えた際に、信号が検出されるまでに最大 20 秒かかってしまう不具合を修正
- ・ **AJA KONA HDMI** 使用時に **AJA Control Panel** において、いくつかの Panasonic 製カメラからのソースが input 1 および 2 において誤って DVI (RGB 8 bit) と認識されてしまう不具合を修正
- ・ **AJA KONA HDMI** 使用時に **AJA Control Panel** において、KONA 4 の HDMI 出力からの信号が input 3 および 4 において誤って DVI (RGB 8 bit) と認識されてしまう不具合を修正

- ・ **AJA KONA HDMI** 使用時に **AJA Control Panel** において、Control Panel 内の各 input を右クリックするとインプットオプションのウィンドウが開くが、設定したインプット変更が反映されない不具合を修正
- ・ **AJA KONA HDMI** 使用時に **AJA Control Panel** において、4K/UHD プレイバック時にアプリケーションが落ちてしまう不具合を修正
- ・ **AJA KONA HDMI、Io 4K Plus および Io 4K** 使用時に **AJA Control Panel** において、MacBook Pro からの HDMI ソースがインプットとしてうまくロックされない不具合を修正
- ・ **AJA KONA 1** 使用時に **AJA Control Panel** において、ソースフォーマットが変更された際に “Follow Input” (入力信号に準ずる) 機能が正しく動作しない不具合を修正
- ・ **AJA KONA IP、KONA 4 および Io 4K** 使用時に **AJA Control Panel** において、“Info” タブが bitfile を “bad bitfile type” と報告する不具合を修正
- ・ **AJA KONA LHi および KONA LHe Plus** 使用時に Telestream Wirecast において、**AJA MultiChannel Config** アプリケーションでオーディオ出力の設定ができない不具合を修正
- ・ **AJA Io 4K Plus、Io 4K、KONA 4、KONA IP、Io IP、Avid DNxIV および Avid Io IP** 使用時に Telestream Wirecast において、選択した内容に関わらずオーディオ入力 SDI 1 入力が常にデフォルト設定になってしまう不具合を修正
- ・ **AJA KONA または Io 製品** 使用時に Telestream Wirecast において、ショットが選択されていない場合にオーディオ入力 (パススルー) が存在し、アプリケーション立ち上げ時にアナログ/ヘッドフォン/SDI モニタリング/HDMI 出力での音声ミュートされない不具合を修正
- ・ **AJA KONA 4** 使用時に Telestream Wirecast において、SDI 4 出力が機能しない不具合を修正
- ・ Adobe Premiere Pro CC 使用時にキャプチャーウィンドウを開いている際に、**AJA KONA または Io 製品** でタイムラインのビデオフォーマットが変更されるとアプリケーションが落ちてしまう可能性がある不具合を修正
- ・ Adobe Premiere Pro CC 使用時に、**AJA KONA または Io 製品** でキャプチャーされたもしくは取り込まれたソースからハイフレームレート素材をプレイバックすると、コマ落ちが発生する不具合を修正
- ・ Avid Media Composer 使用時に **AJA KONA または Io 製品** および/または **Avid DNxIV および Avid DNxIP** において、スクラブを伴って再生し始めた際に前の方へ飛んだあと戻るような挙動が生じる不具合を修正
- ・ Avid Media Composer 使用時に、**AJA KONA または Io 製品** および/または **Avid DNxIV および Avid DNxIP** へ SDI 入力が接続されているとアプリケーションが立ち上がらない不具合を修正

- ・ Avid Media Composer 使用時に、**AJA Io 4K Plus、Io IP、Avid DNxIV および Avid DNxIP** でキャプチャー開始時に崩れたフレームが入る不具合を修正
- ・ AJA Control Room または Avid Media Composer 使用時に **AJA KONA または Io 製品** において、リファレンスを “Video In” に設定しているとキャプチャーまたはプレイバックの開始が遅くなる症状を改善
- ・ **Io XT** 使用時に、アナログオーディオ出力が高周波数では位相ずれを起こしていた不具合を修正
- ・ **Io XT** (UFC ファームウェア) 使用時に、セカンダリーのダウンコンバートされた出力を適用できない不具合を修正

## v14.2.1

- ・ SMPTE 2022-6/7 対応 **Avid DNxIP** (Avid 社の Thunderbolt 3 対応新製品) への最終対応版
- ・ **Avid DNxIV および Avid DNxIP** において、アナログオーディオ設定項目を拡張
  - ・ AJA Control Panel では、以下 4 つのモードが選択可能に：
    - ・ “8 in” : A1-8 までを 8 チャンネル入力として設定
    - ・ “8 out” : A1-8 までを 8 チャンネル出力として設定
    - ・ “4 in, 4 out” : A1-4 までを 4 チャンネル入力として、A5-8 までを 4 チャンネル出力として設定
    - ・ “4 out, 4 in” : A1-4 までを 4 チャンネル出力として、A5-8 までを 4 チャンネル入力として設定
- ・ KONA LHi および KONA LHe Plus において、SDI 出力時の不具合を修正
- ・ **AJA KONA HDMI** において、AJA Control Room を用いて HDMI ポート 3 および 4 から Deep Color (ディープカラー) をキャプチャーした際に音声欠ける不具合を修正

## v14.2

- ・ **AJA KONA HDMI** 対応 (AJA PCIe カード新製品)
- ・ **AJA KONA 1** 対応 (AJA PCIe カード新製品)
- ・ **AJA Io IP** 対応 (AJA Thunderbolt 3 対応新製品)
- ・ AJA Control Panel 上の “Deep Buffer” 設定により、AJA Control Room を用いたインジェスト中にストレージ (記憶装置) が遮断した際の対処を改善
  - ・ 下記の設定で、インジェスト中に書き込み先のメディアを保護するためにキャッシュ用の RAM を割り当てることが可能になりました：
    - ・ AJA Control Room: Preferences > Capture > “Reserve buffer size for deep capture queues”
- ・ Io 4K Plus、Avid DNxIV、Io IP および Avid DNxIP において、アナログオーディオ設定項目を拡張

- ・ AJA Control Panel では、以下 4 つのモードが選択可能に：
  - ・ “8 in”：A1-8 までを 8 チャンネル入力として設定
  - ・ “8 out”：A1-8 までを 8 チャンネル出力として設定
  - ・ “4 in, 4 out”：A1-4 までを 4 チャンネル入力として、A5-8 までを 4 チャンネル出力として設定
  - ・ “4 out, 4 in”：A1-4 までを 4 チャンネル出力として、A5-8 までを 4 チャンネル入力として設定
  
- ・ Adobe Premiere Pro CC 2017 以降において、“Disable creation of SCC/MCC files from Closed Caption data” オプションが追加され、CC データを含む信号をキャプチャーする際に SCC/MCC クローズドキャプション (CC) ファイルの自動生成を防ぐことが可能に：
  - Adobe Premiere Pro CC > Window > Capture > Settings > Edit > Settings > “Disable creation of SCC/MCC files from Closed Caption data”.
  - ・ 注：このオプションは、デフォルトではオンになっていないため、古いプロジェクトでは有効になっていない可能性があります。
  - ・ 注：この機能を有効にしても、収録メディアにクローズドキャプションデータをエンコードさせないようにはできません。ソース信号の中にデータが存在する場合には、キャプチャーされたメディアにそのデータは保持されます。
  
- ・ AJA デスクトップソフトウェアのソフトウェアバージョンとファームウェアバージョンは、密接に統合されています。 例えばもし以前のバージョンに戻す場合には、そのバージョンに合わせてファームウェアを更新します。すなわち、それまでインストールされていたバージョンよりも以前のバージョンのファームウェアに更新するように促される場合があります。 AJA Control Panel のファームウェア更新通知の文言は、的確にこの旨を示すよう変更されました。
  
- ・ 重要な更新事項については、本リリースノート末尾の “既知の問題と制限事項” の項目にも追記されています。“Windows のスリープ/ハイバネーション（休止）/ファストブート” 前後の推奨事項をご参照ください。
  
- ・ Adobe Premiere Pro CC において、RGBA をキャプチャー設定で選択した場合に、ブラッククリップがディスクに書き込まれてしまう問題を修正
  
- ・ Adobe Premiere Pro CC において、（最初に新しいプロジェクトで）AJA クリップからシーケンスを自動生成する際に、30 秒以上時間がかかったりアプリケーションがクラッシュしてしまう症状を修正
  
- ・ Adobe Premiere Pro CC において、両方のフィールドを表示する際に、キャンバス上での SD ビデオ再生の質が悪くなる症状と AJA デバイスからのビデオ出力が欠ける症状を改善
  
- ・ Adobe After Effects CC において、（トランスミット設定で合致したシーケンスが選択され）HD コンポジションを取り込んで SD の解像度に設定した場合に、AJA デバイスでは HD に設定されたままになる症状を修正
  
- ・ AJA Control Room において、キャプチャー時にアプリケーションを中止もしくは終了するかどうかを確認するダイアログを表示するよう改善

- ・ AJA Control Panel において、実際はプレイバックをしている時に、インプット・パススルーにチェックが入っているように見える、またその逆のような、誤った画面表示を修正
- ・ AJA Control Panel において、23.98 でフラグが立てられている P2/MXF の 480i 29.97 素材が示された場合に、フレームバッファおよび出力が正しく 525i 29.97 に設定されるよう修正
- ・ AJA Control Room において、Open GL アクセラレーションを利用していない場合、プレイバック時にビューワ画面で SD 素材のフレーム下部にブラックが表示されていた問題を改善
- ・ T-TAP からの出力映像が水平方向にシフトしてしまう不具合を修正
- ・ Adobe Premiere Pro CC のキャプチャツールの挙動を修正。例えば、T-TAP からキャプチャーしようとしてもできないなど (T-TAP はモニタリング専用デバイスです)
- ・ T-TAP では AJA Control Panel において、Timecode タブをクリックするとアプリケーションがクラッシュする問題を修正
- ・ Io 4K Plus および Avid DNxIV において、電源が入った状態の HDMI モニターに AJA デバイスを接続し、その後 AJA デバイスの電源を入れた際に生じる HDMI 表示とキャプチャーの不具合を修正
- ・ Io 4K Plus および Avid DNxIV において、SDI 1 にケーブルを挿し、信号を通すと AJA Control Room がクラッシュする不具合を修正
- ・ Io 4K Plus および Avid DNxIV において、AJA Control Panel 上でフレームバッファを YCbCr に、HDMI カラースペースを 10bit YUV に設定した場合に、HDMI 出力でバンディング (横縞のグラデーションノイズ) が発生する不具合を修正
- ・ Io 4K Plus および Avid DNxIV において、HDR メニューでオンはできるが完全にはオフされない問題を修正
- ・ Io 4K Plus および Avid DNxIV において、ボリュームノブの操作時に聞こえるタッピング音を修正
- ・ Io 4K において、AJA Control Panel でクアッド (スクエアディビジョン) SDI 入力に設定した際に HDMI 出力がグリーンがかかった色味になり、HDMI ウィジェットが 2K/HD へのダウンコンバートの代わりに 4K/UHD をパススルーしている表記になっている不具合を修正
- ・ Io 4K において、Adobe Premiere で 2K フォーマットをプレイバックする際に、AJA Control Panel ではフレームバッファが UHD に設定されてしまう問題を修正
- ・ Io 4K Plus、Avid DNxIV、Io 4K および KONA 4 において、AJA Control Panel のフレームバッファで RGB-10 (または ARGB-8/RGB-12) に設定し、カラースペースを 10-bit YCbCr / 4:2:0 に設定しようとする、HDMI が出力されなくなる不具合を修正

- ・ lo 4K Plus、Avid DNxIV、lo 4K および KONA 4 において、AJA Control Room での SDI RGB 入力時に異なるカラースペースと収差が表示される不具合を修正
- ・ lo 4K、lo XT および KONA LHi において、AJA Control Panel で 2K を選択している場合に HD、4K を選択している場合に UHD が代わりに出力されてしまう不具合を修正
- ・ KONA LHi および lo Express において、Control Panel のフレームバッファフォーマットにおいて、一時的に正しくない解像度や破綻した映像が出力される不具合を修正
- ・ KONA 4 において、Adobe Premiere Pro CC では Unicode の文字がキャプチャーウィンドウのクリップ名欄にある場合に、キャプチャーが失敗することがある問題を修正
- ・ KONA 4 において、UFC モードのファームウェアを利用して Wirecast を動作した場合に起こるオーディオ品質の問題を修正
- ・ KONA IP において、SMPTE 2022-6/7 ファームウェア使用時に、送信側の KONA IP でビデオ出力（AJA Control Panel 内で）をマニュアルで無効にし、その後再度有効にした場合に、受信側の KONA IP がそれを受けてビデオストリームを再構築するよう修正
- ・ KONA IP において、SMPTE 2022 ファームウェアおよび JPEG 2000 ファームウェア使用時の、2K フォーマット（最大 30p まで）の送信（プレイバック）および受信（インジェスト）に関する問題を修正
- ・ KONA IP において、AJA Control Panel では、SMPTE 2022-6/7 ファームウェア使用時に 2K フォーマットから SD フォーマットに切り替えると、送信（プレイバック）が中断されることがある不具合を修正
- ・ KONA LHi において、ビデオ入力時にフレームバッファを HDMI 入力または SDI 入力をソースとして選択（そして入力ソースに合わせてフレームバッファのフォーマットを設定）して使用する際に、ダウンストリームキーヤーで HDMI 出力および SDI 出力において一時的にブラックフレームが表示される不具合を修正
- ・ KONA LHi において、ビデオ入力時にフレームバッファを HDMI 入力をソースとして選択して使用する際に、ダウンストリームキーヤーで入力信号にロックしてしまう不具合を修正
- ・ KONA LHe Plus と Wirecast の組み合わせで使用する際に、ビデオ出力を見失う不具合を修正

## v14.0.2

- ・ lo 4K Plus および Avid DNxIV において、ファンスピード制御を改善
- ・ Avid DNxIV でのマイク入力時において、ゲインノブのジグザグ音を除去

## v14.0.1

- ・ lo 4K Plus および Avid DNxIV において、HDMI オーディオ Ch 3/4 の入れ替え機能を追加
- ・ lo 4K Plus、lo 4K、KONA 4 および Avid DNxIV において、SDI 入出力のクアッド入れ替え機能を追加
- ・ HDMI 出力のタイミングおよび安定性を全般的に修正（特に HDMI 1.4 モニターへの対応を改善）
- ・ macOS での、KONA 4 からの HDMI 出力における不具合を修正
- ・ 2SI（ツーサンプルインターリーブ）での UltraHD フォーマット HDMI の出力における不具合を修正
- ・ HDMI を入力ソースとした場合に、入力信号の認識が一時的に止まる不具合を修正
- ・ 4K 出力の際に SDI 3 からの出力が欠けている不具合を修正
- ・ SD 出力でのクローズドキャプション機能の不具合を修正
- ・ Control Panel 上でのインプット・パススルー画面で、挙動を正しく表示するよう修正（HDMI ダウンコンバート時）
- ・ Control Panel 上で、接続された機器が lo 4K Plus とも Avid DNxIV とも表示されてしまう不具合を修正
- ・ AJA Multi-Channel Config がウイルスチェックソフトウェアと干渉する不具合を修正
- ・ macOS および Windows インストーラーで Python モデルを使用できるよう改善
- ・ キャプチャー中に、AJA Control Room 上でリップシンクずれのエラーメッセージが表示されてしまう不具合を修正（キャプチャー動作自体には問題はありません）
- ・ キャプチャー中に、Adobe Premiere Pro 上でリップシンクずれのエラーメッセージが表示され、キャプチャー結果では同期が外れてしまっている不具合を修正
- ・ Avid Media Composer で、プレイバック開始時にスナップバックが一時的に止まる不具合を修正
- ・ Avid Media Composer で、P/PsF 切り替え時の反応を改善（このバージョンでは即座に反応するようになっています）

## v14.0

- ・ AJA Control Panel へオーディオミキサーを追加

- ・ Adobe Premiere Pro CC において、インターレース素材の逆再生（フィールドが正しく入れ替えられていない部分）を修正
- ・ Adobe Premiere Pro CC において、アイコンをスクラブしビンからクリップをキューする際、1回目の再生時に生じる停止フレームの不具合を修正
- ・ Adobe Premiere Pro CCでビデオディレイがゼロを超えて設定されているときの再生がジャンプする問題を修正
- ・ 機器を接続せずに AJA Control Panel を立ち上げた場合、アプリケーションが終了してしまう不具合を修正
- ・ AJA Control Room において、Batch Capture ビン画面に VTR オンライン/オフラインアイコンを追加
- ・ AJA Control Room において、“OK” をクリックした際にバッチキャプチャーの間に、デバイスオフラインのダイアログが表示されず、ループしてしまう不具合を修正
- ・ AJA Control Room において、DPX Cineon ヘッダーシークエンスのプレイバックでのタイムコード不具合を修正
- ・ AJA Control Room において、DVCProHD を“on the fly”（即時）でキャプチャーする際、実際に開始するキャプチャーが 1秒遅れる不具合を修正
- ・ AJA Control Room において、プレイバックビューワーに読み込まれたクリップが削除される不具合を修正
- ・ KONA LHi および KONA LHe Plus アナログコンポーネント入力では HD フォーマットを認識しない不具合を修正
- ・ Windows のプログラムと機能において、AJA Desktop uninstaller の名前を変更
- ・ T-TAP において、断続的な VariCam 720p プレイバック時の不具合を修正
- ・ KONA 4, lo 4K, lo 4K Plus および Avid DNxIV においてスクエアディビジョン使用時のみ、クアッドリンク SDI 入力ソースは HDMI 出力では UltraHD として認識することができなくなっています。その代わりに、HDMI 出力は HD モニタリングとしてダウンコンバートされるようになります。
  - ・ 注記：この制限は、**2 サンプルインターリーブ (2SI) 入力ソースには適用されません。2 サンプルインターリーブ (2SI) 使用時には**、クアッドリンク SDI 入力ソースは HDMI 出力において UHD としてモニタリングすることができます。
- ・ KONA 4, lo 4K および lo 4K Plus では、ハイフレームレート非対応のモニターで HDMI プレイバックを容易にするために、ハイフレームレート素材の信号を間引くことはできなくなりました。

## v13.0

- ・ Adobe Premiere Pro CC でループ再生中にビデオフリーズしてしまう不具合を修正
- ・ Windows 7 で NVIDIA グラフィックカードを使用する際、Adobe Premiere Pro CC のインストール時にアプリケーションがフリーズする不具合を修正
- ・ Adobe Premiere Pro CC で RGBA 8 ビットキャプチャーすると不完全なビデオになってしまう不具合を修正
- ・ Adobe Premiere Pro CC がインストールされていない場合でも、Adobe After Effects 向けの AJA プラグインがインストールされるように改善
- ・ AJA Control Room で新しいファイルで上書きしようとする際、クリップが重複してしまう不具合を修正
- ・ AJA Control Room GUI で、入力機器が接続されていない場合に問題があった、キャプチャー/プレイバック画面の不具合を修正
- ・ AJA Control Room で編集のイン点 ( In Point ) を見失う不具合を修正 ( "go to IN" 以降でコマ送りしながら往復している状態)
- ・ AJA Control Room でインポートされた Apple ProRes クリップが正しく認識されるように修正
- ・ Thunderbolt のプラグアンドプレイ性能の向上
- ・ DF RP188 キャプチャー時のタイムコード検知を修正 ( ドロップフレームがノンドロップフレームと検知されていました)
- ・ lo 4K と KONA 4 の SDI 4 出力に水平ノイズが発生する不具合を修正
- ・ UHD のテストパターンを修正
- ・ ETT (Edit To Tape) の不具合を修正 ( DVCPPro HD クリップが読み込まれている場合、ビデオ入力に歪みが発生)
- ・ AMD グラフィックカードとの互換性を向上
- ・ DVCPPro HD ルーティングの不具合を修正 ( DVCPPro HD 再生に問題があります)
- ・ AJA lo 4K での HDMI 入力時に不完全なビデオが生成される不具合を修正
- ・ AJA KONA LHi でのアナログ入力をリファレンスとして選択している場合に HDMI 入力のリファレンスソースとして置き換わってしまう不具合を修正

- ・ Level B の処理を改善 (AJA デバイスへの入力時)

## **v12.5.1**

- ・ Windows 10 で特定の更新を適用後に Premiere のキャプチャー設定で黒い画面が表示されることがある問題を修正
- ・ Adobe Premiere 2017 で 12 ビット HDR カラースペース設定が抜けていた問題を修正
- ・ 32 ビット整数オーディオでキャプチャーされた QuickTime ファイルが、一部のサードパーティアプリケーションで再生されない問題を修正
- ・ Adobe Premiere での非互換性を防ぐため、MXF から 32 ビットオーディオオプションを削除
- ・ KONA LHi でのアナログ入力ビデオソース時のゲンロック選択を修正
- ・ Avid Media Composer で JKL キーボードを素早く操作すると、オーディオをループしてしまう問題を修正
- ・ AJA Control Panel のテストパターンドロップダウンの列をクリックすると AJA Control Panel がクラッシュする問題を修正
- ・ T-TAP で 2K 23.98 の再生問題を修正
- ・ 新規 Windows 10 環境でドライバーがロードされない問題を修正

## **v12.5.0**

- ・ RP188 LTC のみがある場合に RP188 VITC が表示される問題を修正
- ・ SDI 2 のアンシラリー タイムコードが AJA Control Panel に表示されていなかった問題を修正
- ・ lo 4K を電源を入れたまま引き抜いた際、アプリケーションがハングしてしまう問題を修正
- ・ 多くの不正なVPID (ビデオペイロード識別子) 問題を修正
- ・ 4K/UHD の 2SI 入力が KONA 4 と lo 4K で正常にキャプチャーされない問題を修正
- ・ Control Room のキャプチャークリップが常にノンドロップタイムコードになってしまう問題を修正
- ・ Windows 上でファームウェアの自動アップデートが正常に完了しない問題を修正

- ・ AJA Control Panel の全ての “425” 文字列を 4K と UHD を伝送する方式 2サンプルインターリーブを示す “2-SI” に変更
- ・ Adobe 再生環境設定を変更した後、Premiere Pro で AJA 出力が使用不可になる問題を修正
- ・ Premiere Pro のキャプチャーでステレオオーディオを選択しても、ディスクリートモノラルトラックでファイルが作成される問題を修正
- ・ アプリケーションを終了すると HDMI オーディオ出力が常に 8チャンネルにリセットされる問題を修正
- ・ Premiere Pro でタイムラインからタイムライン、またはタイムラインからソースモニタに切り替えるときに AJA 出力で古いビデオフレームが点滅する問題を修正
- ・ Wirecast 出力のオーディオスタッターによる問題を修正
- ・ Wirecast で記録されたファイルとライブストリームで作成されたバックグラウンドノイズの問題を修正

### v12.4.1

- ・ AJA ドライバーに起因する AJA ハードウェアのシリアルナンバーを正しく読み込めない問題を修正

### v12.4.0

- ・ Premiere Pro で Mercury Playback Engine の設定が GPU 高速処理になっていない場合に 8-bit YUV 設定の再生が不正になる問題を修正
- ・ Premiere Pro でトリム機能を使用するとビデオ出力がフリーズする問題を修正
- ・ オーディオハードウェアを使用する方法を変更
- ・ AJA Control Panel が 1080p ハイフレームレート 3G Level B のユーザー設定を保持できない問題を修正。以前は再起動した後に常に Dual Link 1.5G にリセットされていました。
- ・ AJA Transmit プラグインで buffer mode を minimum に設定しオーディオのみのファイルを Premiere Pro のソースモニターで再生するとオーディオがどもる問題を修正
- ・ After Effects から他のアプリケーションに切り替えても AJA ハードウェアを解放しないレガシーな AJA After Effects プレビュープラグイン (Blithook) の問題を修正
- ・ Adobe After Effects のサポート方法を変更。以前は 2 つの異なるプラグインをインストールしていました。“Blithook”プラグインは古いレガシーなプラグインのためデフォルトではインストールされなくなりました。必要な場合はインストーラーのオプションから選択してください。Transmit プラグインはデ

フォルトのインストールオプションとしてインストールされます。詳しくは Adobe のプラグインマニュアルをご確認ください。

- ・ AJA Control Room で QuickTime ファイル生成時に NCLC カラープロファイルを追加
- ・ AJA Control Room と Adobe キャプチャープラグインの DNxHR コーデックをアップデート。DNxHR のキャプチャーパフォーマンスを改善
- ・ AJA System Test が T-Tap の DMA スピードのテストに失敗する問題を修正
- ・ AJA ハードウェアが 25 または 50 fps モードの際に AJA Control Room と Premiere Pro のキャプチャープラグインに DV と DVCProHD コーデックが表示されなくなる問題を修正
- ・ Media Composer が 1080p 50/59.94/60 のプロジェクトを常に 3G SDI Level A モードとして AJA ハードウェアを切り替えてしまう問題を修正。以前はデュアルリンクと 3G SDI Level B は設定することが不可能でした。ユーザーは AJA Control Panel でこの設定を選択することができるようになり、Media Composer を起動する前に設定することで適用されます。
- ・ AJA Control Room で バッチキャプチャーが失敗する問題を修正
- ・ Premiere Pro の Windows バージョンにおいて AJA ASIO ドライバーが適切に動作しない問題を修正
- ・ AJA Control Room で DNxHR の規則に合わせるために DNxHD の命名規則を変更
- ・ AJA Control Room で常に バッチキャプチャーで作成したファイルの オーディオが 16トラックになってしまう問題を修正
- ・ lo 4K が 10bit HDMI 入力を 8bit として扱ってしまう問題を修正
- ・ Premiere Pro で DV 圧縮を使用したキャプチャーの問題を修正
- ・ ホストコンピューターのスリープ後に lo 4K から不正なテストパターンが出力される問題を修正（要ファームウェアアップデート）
- ・ AJA Control Room で複数の DNxHD クリップをキャプチャーすると AJA Control Room がクラッシュする問題を修正
- ・ Windows バージョンの AJA Control Room においてアイドル状態（動作をしていない状態）の際に使用可能な CPU コアを 100% 使用してしまう問題を修正
- ・ Mac と Windows のインストーラーはデフォルトでレガシーな AJA After Effects プレビュープラグインをインストールしないように変更されました。プラグインはインストーラーの中にはまだ含まれており、インストールするにはカスタムインストールでユーザーが選択する必要があります。この古いプラグインは高速な伝送速度が不要な場合のみ使用してください。

- ・ KONA 3G が SDI 入力 2 からの RP-188 タイムコードを正確に読み込めない問題を修正（要ファームウェアアップデート）
- ・ AJA Control Room の バッチキャプチャーでキャプチャーを開始した後にアウトポイントの値が変更されて表示される問題を修正。アウトポイントの値が不正確なのは見た目上だけで、設定したアウトポイントは実際には正確です。
- ・ Avid Media Composer の タイムラインの再生で開始のフレームがまれにスキップされる問題を修正
- ・ Avid Media Composer の スクラブ後の再生で最初のフレームがまれに不正確なフレームになる問題を修正
- ・ Avid Media Composer の ループ再生が原因で exception error を引き起こす問題を修正
- ・ Premiere Pro のビデオとオーディオのミリ秒のオフセットによりタイムラインの再生の開始時に数フレームのビデオをまれにスキップする問題を修正
- ・ AJA Control Room の VTR アウトポイントの表示が バッチキャプチャーの開始後に変更されてしまう見た目上の問題を修正（キャプチャーされたファイルのアウトポイントは正常）
- ・ KONA LHe+ の AJA Control Panel で AES XLR がオーディオ入力ソースとして選択できない問題を修正（要ファームウェアアップデート）
- ・ lo 4K にて AJA Control Panel でのアナログオーディオの設定が正確に反映されない問題を修正
- ・ Adobe Premiere Pro で 720p フォーマットを元ファイルに正確なフレームでキャプチャーできるように修正
- ・ Adobe Premiere Pro のデバイスコントロールプラグインを端数（0.5 単位）のフレームオフセットが行えるように改善。端数のフレームオフセットは、断続的に行う編集やキャプチャー時に、フレーム未滿でキャプチャーやテープ出力のオフセットを微調整するために使用することができます。
- ・ Adobe Premiere Pro で RP-188 タイムコードを正しくキャプチャーできるように修正
- ・ T-Tap と lo Express で Premiere Pro の 正しいビデオフォーマット設定が保持できない問題を修正
- ・ lo 4K で RGB の HDMI 入力が正しく動作しない問題を修正
- ・ AJA Control Room の インサート編集でオーディオの最初のフレームが挿入されない問題を修正
- ・ Adobe Photoshop で AJA インポートプラグインを使用してキャプチャーをした際に入力された画像のクロマレベルが低くなる問題を修正
- ・ 2 サンプルインターリーブ形式の VPID データの不具合を修正

- ・ lo 4K と KONA 4 の 4K と UltraHD の HDMI 出力におけるバンディングを修正
- ・ lo 4K と KONA 4 で ダウンストリームキーヤーを使用した際に画像が歪む問題を修正
- ・ ビデオフォーマットを切り替えることで画像が誤って垂直方向にロックしてしまう問題を修正
- ・ Premiere Pro の再生設定におけるオーディオとビデオのオフセット設定を修正

## 関連製品

---

今回の更新で対象となる製品は以下の通りです：

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| ・ lo 4K Plus | ・ KONA 5        |
| ・ Avid DNxIV | ・ KONA 4        |
| ・ lo IP      | ・ KONA HDMI     |
| ・ Avid DNxIP | ・ KONA IP       |
| ・ lo 4K      | ・ KONA 1        |
| ・ lo XT      | ・ KONA 3G       |
| ・ lo Express | ・ KONA LHi      |
| ・ T-TAP      | ・ KONA LHe Plus |

## 既知の問題と制限事項

---

### 一般

- ・ KONA や lo のデバイスを使用時、システムをスリープや休止状態にしないでください。オペレーティングシステムの設定でスリープと省電力モードを無効にする必要があります。
- ・ “ハイバネーション（休止状態）” は KONA ファミリーおよび lo ファミリーでは使用しないでください。全てのハイバネーション（休止状態）モードは、オペレーションシステム設定でオフにしてください。
- ・ Windows の “ファストブート” 機能により、（PCIe と Thunderbolt で接続された）デバイスが正しく認識されない場合があります。この問題を回避するために、AJA としてはファストブートを無効にすることを強くお勧めします。
- ・ AJA Control Room と Adobe Premiere CC の MXF OP-1A キャプチャーでは、720p60 , 1080i30 , 1080p30 , 1080p60 のフォーマットはサポートされていません。

- ・ KONA LHi はオーディオシステムを 1つしか持っていないため、キャプチャーや出力で同時に使用できるオーディオは 1系統のみに制限されます。同時に複数チャンネルの入力と出力に対応したアプリケーションでは、SDI 入力にエンベデッドされたオーディオが使用されますが、HDMI ではオーディオを入力できません。入力と出力それぞれが一度に独立した状態で使用される場合（入力からのパススルー出力ではなく）のみ 1系統のオーディオチャンネルを使用することができます。

## lo 4K

- ・ いくつかのモニターでは、HDMI 出力がクロップまたはスケーリングされ、一番外側の境界にあたる部分が表示されません。現時点での回避策としては、モニターのパンおよびスキャン設定をご使用ください。

## KONA LHi

- ・ 3G-SDI Level A 1080p 50/59.94/60 YUV 入力を RGB のフレームバッファでキャプチャー時に使用する場合、映像がつぶれるもしくは多数のノンリニア編集ソフトでは動作しない状態になります。Adobe Premiere CC では、この症状により RGB10 フレームバッファ/キャプチャーコーデック使用時にアプリケーションが反応しなくなります。注記：3G-SDI Level B の場合はすべての対応しているノンリニア編集ソフトで適切に動作します。

## KONA HDMI

- ・ 現時点では、SD ソースはチャンネル 1 および チャンネル 2 では正しく動作しません。SD 素材をインジェストする際には、チャンネル 3 および/または チャンネル 4 を使用してください。
- ・ 現時点では、いくつかの HDMI カメラソースは正しく動作しません。AJA で調査を行いますのでサポートへご連絡ください。

## Wirecast

- ・ lo 4K や KONA 4 のようなマルチチャンネルのデバイスで構成され、ライブのプログラム出力機能を使用する場合には始めに入力の設定を構成する必要があります。この場合、マスタークロック（NTSC もしくは PAL）をデバイスに設定することになります。そうでない場合、デバイスはデフォルトの 1080i 29.97 に設定され、PAL と NTSC のクロックの混合を引き起こす可能性があります。必ず Wirecast を起動する前に AJA Multi Channel Config で入力と出力をすべて設定してください。

## Adobe Plug-Ins

- ・ シーケンスとハードウェアのフレームレート設定が異なると、適切なオーディオ出力が得られない場合があります。
  - 720p50/59.94/60 以外の 720p フォーマットで発生する可能性があります。
  - この制限を回避するには、Premiere Pro の再生設定で、AJA ビデオデバイスを「Match Control Panel」に設定します。その後、AJA Control Panel を使い、出力に対して 1080

フォーマットへのクロスコンバージョンを設定します。例えば、720p23.98 プロジェクトを使用する場合は、SDI 出力を選択して 1080PsF23.98 フォーマットを選択し設定します。

- ・クラッシュキャプチャーにおいて、RS-422 タイムコードをキャプチャーすることはできません。RS-422 タイムコードに変えてエンベデッドタイムコードを使用する事を推奨します。
- ・VFR にプルダウンが追加された場合、タイムコードは調整されません。
- ・HD-SDI 経由のクラッシュキャプチャーおよびプリントにおいて Varicam フレームレートでの動作は可能ですが、インサート編集やイン点・アウト点を指定してのキャプチャーやバッチキャプチャーは行えません。
- ・パナソニック社製のデッキにインサート編集を掛ける際、正しく編集を行えない場合があります。この問題を回避するためには、メニュー項目 202 “ID SEL” が “OTHER” に設定されていることを確認してください。
- ・デッキ制御において 4 秒以下のプリロールは推奨しません。
- ・Premiere Pro のモニタ設定のデフォルトは “最初のフィールド” となっています。インターレースを正しく表示するには “両方のフィールド” を選択してください。
- ・Premiere Pro のキャプチャーウィンドウを開いた状態で、デッキのテープが DF から NDF に変更された場合、DF/NDF ステータスを正しく検知できない場合があります。このとき、Premiere Pro のキャプチャーウィンドウに表示されるタイムコードは正しくない可能性があります。
  - 同じキャプチャーセッション中に DF と NDF のテープ混在がなければ、この問題はユーザーに影響しません。
  - ▶ 対処方法：テープチェンジ時に表示されるダイアログにてテープ名を与え、OK をクリックする前に新しいテープをスプールしてください。
  - ▶ 回避方法：キャプチャーウィンドウを一度閉じて、再度開きます。
- ・Panasonic D5 デッキを使用してキャプチャー/テープへ書き出しを行う際は、AJA Premiere Pro Device Control プラグインのタイムコードソース設定を LTC+VITC にしなければなりません。

## Avid Open I/O Plug-ins

- ・AJA デバイスをオーディオのみキャプチャするために “キャプチャーツール” で使用するためには、“キャプチャーツール” で AJA デバイスを選択している必要があります。
  1. キャプチャーツールを開く
  2. AJA KONA あるいは AJA Io などのビデオ入力およびオーディオ入力を選択
  3. オーディオのみのキャプチャーを開始

- ・ AJA デバイスを“オーディオパンチインツール”で使用するためには、“キャプチャーツール”で AJA デバイスを選択している必要があります。
  1. キャプチャーツールを開く
  2. AJA KONA あるいは AJA Io などのビデオ入力を選択
  3. キャプチャーツールを閉じる
  4. オーディオパンチインツールを開く
  5. AJA KONA あるいは AJA Io などの入力デバイスを選択
  
- ・ Open I/O Plug-ins がインストールされているタイムラインの不特定なループは、Avid アプリケーションの再生停止や、エラーメッセージの原因となる可能性があります。
  
- ・ KONA 3 もしくは KONA 3G でデュアルリンク RGB ソースをキャプチャーする場合、E/E されるデュアル SDI 出力は正しくない可能性があります。
  
- ・ AJA ハードウェアはコントロールパネルを使用してゲンロックを ‘Input’ と ‘Reference’ で切り換えることができますが、Media Composer でキャプチャーを行う場合、この選択によってバッチキャプチャーを正しく行えない場合があります。この問題を回避するにはゲンロックを “Input” に設定します。
  
- ・ アナログビデオ入力は Media Composer のキャプチャーツールに正しく検出されない場合があります。この問題は Media Composer の起動時にソースビデオを再生しておくことで回避できます。